

A large, intricate red scribble graphic on the left side of the page, consisting of many overlapping, curved lines that form a dense, abstract shape. A thin red horizontal line extends from the right edge of this scribble across the page.

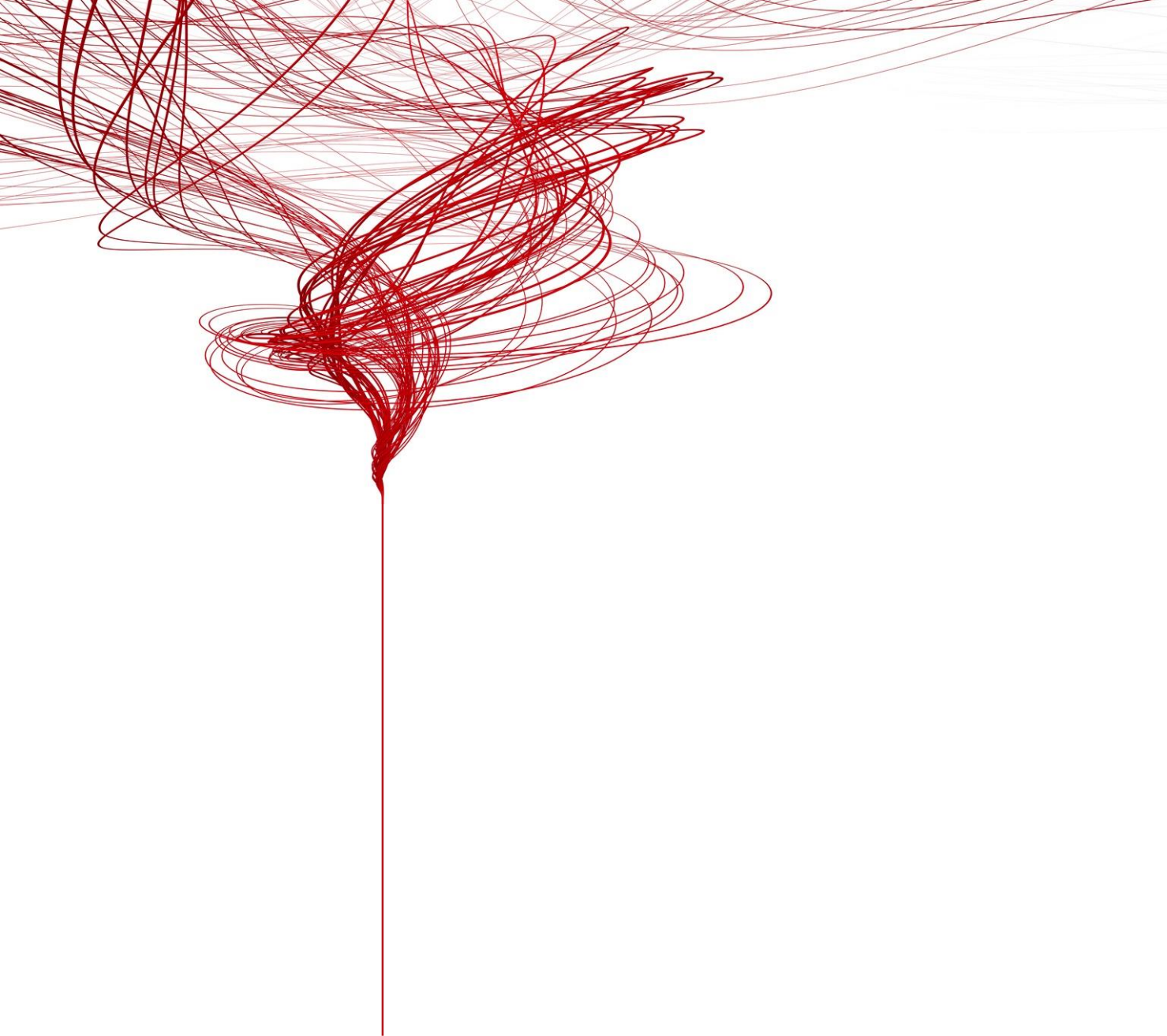
Desktop and Laptop Option 9.4 Sizing Calculator

Please click a link.

https://www.veritas.com/support/en_US/article.100048127

VERITAS™

The truth in information.



VERITAS™

The truth in information.

Q & A

Thank you!

Copyright © 2017 Veritas Technologies. All rights reserved. Veritas and the Veritas Logo are trademarks or registered trademarks of Veritas Technologies or its affiliates in the U.S. and other countries. Other names may be trademarks of their respective owners.

This document is provided for informational purposes only and is not intended as advertising. All warranties relating to the information in this document, either express or implied, are disclaimed to the maximum extent allowed by law. The information in this document is subject to change without notice.

VERITAS™

本日の内容

1

Agenda item 1

2

Agenda item 2

3

Agenda item 3

4

Agenda item 4

本日の内容

1

Agenda item 1

2

Agenda item 2

3

Agenda item 3

4

Agenda item 4

Appendix

*** (勝手) Style Guide ***

全般

- “Less is More” – スライドにデータが少ない方がより強く伝わります。 unnecessaryな図・写真・文字は聴衆者を混乱させます。スライドから削除しましょう。
- “Bigger is Better” – 大抵の場合文字や図は大きい方が聴衆者は理解しやすくなります。バランスを意識しつつなるべく大きく見せましょう。
- “余白の美” – 余白は伝えたい文字・図・写真をより引き立てます。このテンプレートのガイド内に記載することで適度に余白を保てます。（写真を使う場合は別です）
- “1スライド・1メッセージ” + “メッセージをサポートするイメージ” – 複数のメッセージは聴衆者を混乱させます。メッセージに関係ない写真や図も混乱を招きます。

Appendix

*** (勝手) Style Guide ***

表記

- “固有名称は正確に” – 製品、機能、会社名などは略さず正式名称を使いましょう。略す場合はどこかで説明を入れましょう。
- “極力日本語で” - むやみに英語表記・表現せず、可能な限り日本語で表記しましょう（例：“Storage” よりも“ストレージ”）
- “体言止め” – プレゼンテーションは文書による読み物ではありません。文章での表現よりも体言止めにしましょう。
- “フォントの統一” – 日本語は“MS ゴシックP”で、英語は“Arial”で統一、または“メイリオ”で統一しましょう。

Appendix

*** (勝手) Style Guide ***

色

- “カラーパレット” – カラーパレットはベリタスのイメージを定義しています。カラーパレットにある色を使いましょう。
- “5色” – できれば1スライドの文字、図、グラフなどで使う色は5色にとどめましょう。よりカラフルにすることは必ずしも聴衆者の理解の助けになりません。
- “コントラスト” – 強調したい場合は、色のコントラストを考えましょう。7色のグラフはメッセージとしてほとんど意味がありません。
- “グラデーションよりもフラット” – 不必要にデコレーションする必要はありません。グラデーションはほとんど効果がありません。使う場合は控えめにしましょう。
- “色の統一” – スライド全体を通して色を統一しましょう。

Appendix

*** (勝手) Style Guide ***

図・イメージ・ロゴ

- “グラフは3Dよりも2D” - 大抵の場合グラフで伝えたい内容は2Dの方がわかりやすいです。3Dグラフは伝える目的では何の効果もありません。
- “イメージの統一” - スライド間でできるだけ統一しましょう。例えば、サーバーやストレージの図はスライド通して同じものを使うなど。
- “タテ・ヨコ比率の維持” - オリジナルの図やロゴを使う場合は、タテ・ヨコ比率を変更しないようにしてください。